

一担い手組織

- ・平成30年度、役員・事務局体制を一新
- ・地区計画の更新時期を迎えている
- ・3つの専門部会を中心に活動を推進
- ・平和教育家として知られる永井隆博士の生家があり、旧飯石小校舎を博士の顕彰施設兼、住民の交流施設にすることを検討している

□一昨年に実施した住民アンケート結果等をもとに、平成28年に閉校した旧飯石小学校校舎の利活用の検討とセットで、新しい5ヵ年の地区計画を作成することが、令和元年度の課題だった。

- ・永井隆博士の顕彰施設兼、住民が気軽に寄れる交流施設を目指した旧飯石小校舎活用の骨子が完成

その後は、地区計画に盛り込まれた内容と、旧飯石小活用プランを効果的にリンクさせ、1年ごとの推進のロードマップを作成して、PDCAをまわしながら、着実に実践していくことが求められる。

◆この1年で地区計画づくりが滞りなく進み、閉校（平成28年3月）以来の懸案事項であった旧飯石小学校校舎活用策の方向性も、しっかりと定まったことはよかった。

◆今回の地区計画づくりを通じて、地域関係者のモチベーションがさらに高まり、関係者相互の意思疎通が進んだことも、大きな成果であったと考える。